

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課						
	作成責任者	芦田 直也						
	事業名	シルバー人材センター支援事業						
	会計情報	款 労働費	項 労働諸費	目 労働諸費	会計 一般会計	事業コード 420102	決算付属資料 162	頁
	施策体系	施策コード 050501	施策名 高齢者の生きがいを創出する					
	開始年度	昭和60年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等							
	根拠法令等	福知山市高齢者労働能力活用事業費等補助金交付要綱						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	高齢者の就業機会の増大と福祉の増進(生きがいを得る)を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある社会づくりに寄与する。				
	対象者	公益社団法人福知山市シルバー人材センター	対象者数	721	単位あたりコスト	26.2
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	60歳以上の高齢者が会員として構成され、高齢者に就業の機会を提供する公益社団法人福知山市シルバー人材センターの運営費及び各種事業に対して助成する。(補助金交付)				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費		
	負担金補助及び交付金	高齢者労働能力活用事業費等補助金、全国・京都府センター賛助会費	17,119			
	役員費	保険料(建物総合損害共済共済基金分担金)	7			
	需用費	消耗品等	4			
	関連事業					

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	18,910	17,142	17,138	15,905	15,898
		②補正予算			0		
		③流充用額	0	0	0		
		④繰越額計	0	0	0	0	0
	繰越	前年度繰越		0	0	0	
		次年度繰越		0	0	0	
		繰越合計		0	0	0	
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	18,501	16,336	17,138	15,366	15,343
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	409	806	0	539	555
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.55/0	0.47 / 0	0.22 / 0	0.22 / 0		
	⑤概算人件費	4,400	3,760	1,760	1,760		
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	23,310	20,902	18,898	17,665		
	⑦執行額	18,910	17,142	17,130			
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		シルバー会員数	人	709 / 720	719 / 720	695 / 720	/	740
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		業務受注件数	件	5817 / 6610	5593 / 5817	5236 / 5593	/	5750
		単位あたりコスト		3.3	3.1	3.2	/	
	単位あたりコスト				/			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	今後、ますます進行する高齢化社会において、元気な高齢者の就労による社会参加は、地域活力の向上とともに、高齢者福祉の視点からも重要であり、高齢者に対し就業機会の提供を行うシルバー人材センターの運営を引き続き支援する必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	シルバー人材センターは業務拡大に向け、独自事業の展開などに積極的に取り組んでいるが、現行の運営基盤を維持できるよう市が支援を行っていく必要がある。 市は国・府との協調補助として、補助金を交付しており、令和元年度は補助金削減を行う。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	シルバー人材センターは高齢者に対し就業機会を提供し、高齢者の生きがい創出や健康増進に寄与し、さらにボランティア活動の積極的な取り組みなどによる地域社会への貢献度も大きい。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成30年度の市補助金は、平成29年度の額と同額とした。 少子高齢化の進展や生産年齢人口の減少に伴う労働力不足の中、高齢者の雇用環境も厳しくなっている。 シルバー人材センターは高齢者の就労の場、生きがいの充実を図る場として大変重要な役割を担っており、会員の能力と希望に応じた公平で適正な就業機会を提供できるよう努めている。		
今後の課題及び方向性	再雇用、定年の延長等、60歳以降の人生の選択肢が増えたことにより、シルバー人材センターの会員数が減少傾向にあるが、今後、ますます進行する高齢化社会において、元気な高齢者の就労による社会参加は、地域活力の向上とともに、高齢者福祉の視点からも重要である。 シルバー人材センターについては、自立されることが望ましい形ではあるが、国府と協調する中で、市として高齢者に対し就業機会の提供を行うシルバー人材センターの運営を引き続き支援する必要がある。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 高齢者福祉課												
	作成責任者	谷口 学												
	事業名	敬老会事業												
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費	会計	一般会計	事業コード	420208	決算付属資料	124	頁
	施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する									
	開始年度	平成元年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市敬老会補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	多年にわたり地域社会の進展に寄与し、豊富な知識と経験を有する高齢者を敬愛するとともに、長寿を祝うことを目的として市内各地域で開催される敬老会の主催者に対して支援を行う。また、80歳(傘寿)、88歳(米寿)、90歳(卒寿)及び99歳(白寿)を迎える長寿の方と最高齢者に対し、長寿御祝品の贈呈を行い、市民の敬老意識の高揚を図る。									
	対象者	70歳以上の高齢者	対象者数	17,905	単位あたりコスト	1.3					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	・敬老精神の涵養と長寿を祝い開催される敬老会の主催者に運営費の一部を補助する。 ・市内最高齢者・99歳(白寿)、90歳(卒寿)、88歳(米寿)及び80歳(傘寿)の高齢者に記念品を贈呈し、長寿をお祝いする。 ・99歳(白寿)は祝状等も併せて贈呈する。100歳以上には書簡を贈呈。									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	需用費	最高齢者や節目高齢者への祝品等							1,519		
	役務費	郵送料							104		
	負担金補助及び交付金	940円×70歳以上の対象者数							16,204		
	関連事業										

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	20,813	18,406	19,569	20,049	20,181
	②補正予算	0	0	0		
	③流充用額			△ 67		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越						
次年度繰越						
財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	20,813	18,406	19,502	20,049	20,181
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.24/0	0.23 / 0	0.38 /	0.38 / 0		
⑤概算人件費	1,920	1,840	3,040	3,040		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	22,733	20,246	22,542	23,089		
⑦執行額	20,640	17,501	17,827			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.2%	95.1%	91.4%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		敬老会参加率	%		32 / 50	35 / 50	36 / 50	/ 50
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	市長来賓出席(代理含む)	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		回数	回	42 / 42	42 / 42	37 / 41	/ 41	41
	単位あたりコスト			491.4	416.7	481.8		
	単位あたりコスト			/	/	/	/	

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	長寿を祝うという趣旨や地域行事として必要性が高い。自治会等の運営費用だけでは実施することは難しいため、必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	祝行事であり、地域でも主催者が一定の負担をしている状況である。ただし、高齢社会に伴い、年齢水準を上げる検討の余地はある。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	市のほぼ全ての地域で敬老会は継続して開催されており、長寿を祝うこと、敬老会の開催支援については達成できている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		敬老会の運営費の一部を補助することで、地域の敬老会が円滑に実施されている。また、市長による最高齢者訪問等の実施により、長寿の方々への感謝と敬意を表すことができていると考える。	
今後の課題及び方向性		敬老精神の涵養という観点から敬老事業として敬老会の開催以外への支援も検討していく。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内 容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度から関係者からの意見聴取を初めており、令和元年度は全主催者に敬老会に関するアンケートを実施した。今後、関係者との協議を進めながら敬老事業の今後のあり方やそれに見合った制度を検討していく。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 高齢者福祉課												
	作成責任者	谷口 学												
	事業名	老人クラブ活動費補助事業												
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費	会計	一般会計	事業コード	420209	決算付属資料	124	頁
	施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する									
	開始年度	平成元年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市老人クラブ活動費補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	各地域において活動している老人クラブの活動を支援し、円滑な事業実施を図る。地域の生きがいづくりや健康づくり、介護予防活動等、地域福祉の推進を図る。									
	対象者	市内高齢者	対象者数	23,090	単位あたりコスト	0.5					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	生きがいづくりや健康づくりなどの活動を行っている各地域の老人クラブに対して補助金を交付することで、その活動を支援する。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	負担金補助及び交付金	地域活動事業・視察研修参加事業への補助							7,378		
	役務費	郵送料							37		
	関連事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	9,064	9,222	9,787	8,222	7,472					
		②補正予算	0	0	0							
		③流充用額	0	0	0							
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
		前年度繰越			0	0						
		次年度繰越			0	0						
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	3,924	4,999	4,867	2,822	2,491					
		国支出金	0	0	0	0						
		府支出金	5,140	4,223	4,920	5,400	4,981					
		地方債	0	0	0	0						
		その他特財	0	0	0	0						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	老人クラブ活動費		種類	府補助金		実績金額	4,920	決算付属資料	24	頁
		特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.31/0	0.19 / 0	0.24 /	0.24 / 0						
⑤概算人件費		2,480	1,520	1,920	1,920							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		11,544	10,742	11,707	10,142							
⑦執行額		8,457	7,881	7,415								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		93.3%	85.5%	75.8%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		老人クラブ会員数	人	7,237/10,000	7,306/10,000	7,268 /7,500	/ 7,500	7,500
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		出前講座	回	5 / 10	2 / 10	1 / 10	/ 10	10
		単位あたりコスト		1691.4	3940.5	7415.0		
普及啓発事業利用(H29～)	回	/	12 / 20	27 / 20	/ 20	20		
単位あたりコスト			656.8	274.6				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	生きがい・健康・地域づくりに貢献している老人クラブ活動への支援は必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	年間事業費のうち、補助金の占める割合は平均で20%を下回っており、支援の割合としては妥当と考える。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	地域における高齢者支援活動・見守り活動・生きがいづくり・地域交流を推進する上で、老人クラブへの支援は有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	高齢社会のもとでは、市内の各地域において生きがいづくり、健康づくり等の活動を行う高齢者の自主的な組織である単位老人クラブの活動は重要であり、その活動を支援していくことは高齢者福祉の増進という観点において有意義である。なお、活動実績の指標「普及啓発事業利用」について、普及啓発事業は平成29年度より実施されているため、平成28年度については記入していない。		
今後の課題及び方向性	今後超高齢化社会において、市内の各地域でレクリエーション、スポーツ、清掃活動などの生きがいづくり、健康づくり等の活動を行う単位老人クラブの活動は非常に重要であり、高齢者と地域社会の交流、健康の増進、活動への参加による認知症予防などに大きく寄与していることから、平成29年度の変更内容の経過を見ながら補助のあり方について検討を行う。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度より市老連との協議を継続的に実施しながら、今後の補助金の在り方について検討しているところである。令和2年度は、補助金のあり方の決定、周知の期間とする。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 高齢者福祉課						
	作成責任者	谷口 学						
	事業名	老人クラブ連合会活動事業						
	会計情報	款 民生費	項 社会福祉費	目 老人福祉費	会計 一般会計	事業コード 420210	決算付属資料 124	頁
	施策体系	施策コード 050501	施策名 高齢者の生きがいを創出する					
	開始年度	平成元年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等	-						
	根拠法令等	福知山市老人クラブ連合会補助金交付要綱						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	健康・友愛・奉仕を活動の柱に「地域を豊かにする活動」や「安心安全なまちづくり」を積極的に展開している老人クラブ連合会の活動を支援することで、地域福祉、高齢者福祉の増進を図る。				
	対象者	市内高齢者	対象者数	23,090	単位あたりコスト	0.3
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス				
	事業概要	地域福祉活動等を積極的に展開している老人クラブ連合会に対して補助金を交付することで、老人クラブ連合会の円滑な事業運営を支援し、各地域の健康づくりや介護予防活動等、地域福祉の推進を図る。				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費		
	負担金補助及び交付金	活動費補助・大会等バス利用補助	4,715			
	需用費	燃料費	25			
	委託料	福祉バス委託料	65			
	旅費	添乗旅費	2			
関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	配当予算	①当初	5,170	4,715	4,715	5,100	5,106			
		②補正予算		46	0					
		③流用額	0		92					
		④繰越額計	0	0	0	0	0			
	前年度繰越				0	0				
		次年度繰越			0	0				
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	4,294	3,908	3,667	4,265	3,847			
		国支出金	0	0	0	0				
		府支出金	876	853	1,140	835	1,259			
		地方債	0	0	0	0				
	その他特財	0	0	0	0					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	老人クラブ連合会活動事業	種類	府補助金	実績金額	1,140	決算付属資料	24	頁
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.32/0	0.25 / 0	0.26 /	0.26 / 0					
⑤概算人件費	2,560	2,000	2,080	2,080						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	7,730	6,761	6,887	7,180						
⑦執行額	5,018	4,760	4,807							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	97.1%	100.0%	100.0%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		相互支援実施クラブ数	団体	65 / 150	59 / 150	57 / 100	/ 100	100
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		相互支援連絡会の開催	回	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
		単位あたりコスト		2509.0	2380.0	2403.5		
連絡会における市の取組啓発	回	1 / 2	1 / 2	1 / 2	/ 2	2		
単位あたりコスト		5018.0	4760.0	4807.0				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域福祉の推進を図るためには、まちづくりを進める核となる団体への支援は必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	老人クラブ連合会への支援を継続していく上で、地域福祉の推進がどの程度図れているか検証し、より効率的に支援をしていく必要がある。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	地域における高齢者支援活動、見守り活動、生きがいつくり、交流などを推進する上で老人クラブ連合会への支援は有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果としては、地域福祉の推進に十分に寄与していると考え、客観的な指標を今後検討することも必要と考え、連合会事務局と協議しながら、さらなる地域福祉の推進に向けた方策を検討する。連合会会員は微減しているが、地域福祉の他にも交通安全啓発や市の各種啓発事業等にも協力いただいているため、今後も支援を行っていく必要がある。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>近年老人クラブの会員が減少し、解散クラブが徐々に増えているが、老人クラブ連合会は、老人クラブへの研修実施やスポーツ大会等の企画・開催を通じ、老人クラブへの活性化を目的に活動を行っている。また、交通安全啓発や市の各種啓発事業等にも協力いただいていることから、その貢献は大きく、今後も継続して老人クラブ連合会の円滑な事業運営への支援を行っていく必要がある。補助のあり方については、事業内容や事業効果等を検証する中で検討を行う。</p>		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度より市老連との協議を継続的に実施しながら、今後の補助金の在り方について検討しているところである。令和2年度は、補助金のあり方の決定、周知の期間とする。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 高齢者福祉課												
	作成責任者	谷口 学												
	事業名	在宅高齢者福祉関連事務事業												
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費	会計	一般会計	事業コード	420237	決算付属資料	126	頁
	施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する									
	開始年度	平成元年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	円滑な事務の推進を図る。(各事業実施のための一般事務費)												
	対象者	対象者数 単位あたりコスト												
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等													
	事業概要	在宅福祉関連の旅費・消耗品・郵送料等の一般事務費												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容								H30経費			
		賃金	臨時職員賃金								1,282			
旅費		旅費								1				
需用費		事務用品等								90				
役務費		郵送料及び電話代								408				
備品購入費	業務用プリンター								82					
関連事業														

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	配当予算	①当初	3,006	3,278	3,408	2,999	2,795			
		②補正予算	0	0	0					
		③流充用額			△ 115					
		④繰越額計	0	0	0	0	0			
	前年度繰越			0	0	0	0			
		次年度繰越		0	0	0	0			
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	3,006	3,278	3,278	2,984	2,795			
		国支出金	0	0	0	0	0			
		府支出金	0	0	0	0	0			
		地方債	0	0	0	0	0			
		その他特財	0	0	15	15	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	証明手数料	種類	使用料及び手数料	実績金額	15	決算付属資料	12	頁
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.11/0	0.08 / 0	0.21 / 0	0.21 / 0				
⑤概算人件費		880	640	1,680	1,680					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		3,886	3,918	4,973	4,679					
⑦執行額		1,963	2,208	1,864						
執行率 (⑦/⑥)×100		65.3%	67.4%	56.6%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		臨時職員配置数	人	1/1	1/1	1/1	/1	1
		単位あたりコスト		1963.0	2208.0	1864.0		
単位あたりコスト					/			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	円滑な事務の推進のため必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	事務用品費、電話料等の必要経費であり、コスト削減は難しい。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	円滑な事務の推進のため必要である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	本事業については、高齢者福祉課における一般管理事業であるため、各種事務事業の円滑な推進及び事業実施のため引き続き必要である。(定性評価)		
今後の課題及び方向性	円滑な事務の推進及び事業実施のため引き続き必要な事業である。 令和元年度より事業名称を高齢者福祉一般管理事業に変更。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	円滑な事務の推進及び事業実施のため引き続き必要な事業であるため、見直し等は行わない。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 高齢者福祉課												
	作成責任者	谷口 学												
	事業名	福祉避難所運営事業												
	会計情報	款	民生費	項	災害救助費	目	災害救助費	会計	一般会計	事業コード	420289	決算付属資料	142	頁
	施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する									
	開始年度	平成18年度												
	終了予定年度	平成30年度												
	関連計画等	福知山市地域防災計画												
	根拠法令等	災害対策基本法及び福祉避難所の確保・運営ガイドライン(内閣府)												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	災害発生時に身体、知的、精神に障害のある人や重度の障害がある人など災害時要配慮者を受け入れられる環境を整備し、要配慮者の安心安全を確保する。									
	対象者	災害時要配慮者	対象者数	3,800	単位あたりコスト	0.6					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	・平成30年度より、①ハピネスふくちやま、②三和会館、③夜久野ふれあいプラザ、④金屋ふれあいセンターの4箇所に公設福祉避難所を整備し、福祉的対応が行えるよう資材・物品を配備し、要援護者の受け入れ環境を整える。 ・災害時には受入施設の福祉避難所運営を福知山民間社会福祉施設連絡協議会加入施設へ委託するため、人件費相当を計上する。									

主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費
	需用費	公設福祉避難所備蓄物品	97
	備品購入費	公設福祉避難所備蓄物品	86
	負担金補助及び交付金	福祉避難所運営負担金	16

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	750	750	1,030	0	0
	②補正予算					
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越		0	0	0	0
	次年度繰越		0	0	0	0
	一般財源	750	750	987	0	0
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	43	0	0

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福祉避難所運営事業(みらい戦略一括交付金)	種類	府補助金	実績金額	43	決算付属資料	24	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

人件費	0.03/0	0.14 / 0	0.17 / 0	0.17 / 0	
⑤概算人件費	240	1,120	1,360	1,360	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	990	1,870	2,390	1,360	
⑦執行額	0	2	199		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	0.0%	0.3%	19.3%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		公設福祉避難所指定数	箇所	-	-	4/4	/	4
							/	
							/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		要配慮者用資機材整備箇所数	箇所	-	-	4/4	/	4
		単位あたりコスト				49.8		
		単位あたりコスト					/	

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	東日本大震災や熊本地震から明らかになった要配慮者の避難という課題解決のために必要性が高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	避難者対応にかかる費用のため、コスト削減の余地がない。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	平成30年度より、①ハピネスふくちやま、②三和会館、③夜久野ふれあいプラザ、④金屋ふれあいセンターの4箇所に公設福祉避難所を整備し、福祉的対応が行えるよう資材・物品を配備し、要援護者の受け入れ環境を整えたことで、平成30年度災害時においても要配慮者の避難者を受け入れることができた。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成28年に福知山民間福祉施設連絡協議会と「福祉避難所（二次避難所）開設・運営ガイドライン」に基づき覚書を締結した。本覚書及び一般社団法人福知山民間社会福祉施設連絡協議会と福知山市で平成18年に締結した「災害時に要配慮者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定」に基づき、平成30年の大雨災害時に要配慮者の避難所として開設を行った。引き続き多くの避難者への対応や要配慮者の身体状況に対応するため、資機材整備等を行っていく。		
今後の課題及び方向性	今後は介護事業所等と個別に災害対応につき聞き取り等を行うほか、資機材の整備、防災訓練等を実施し、要配慮者が良好な避難生活を提供できるよう推進していく。 本事業については、令和元年度より危機管理室所管事業へ移行。			

	所見
庁内及び外部による評価（行革担当課記入）	
三次評価（外部評価）（行革担当課記入）	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	本事業については、令和元年度より危機管理室所管事業へ移行。
	予算額の反映状況（対H31） <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】